

水面の上空にあつては、地上又は水上の人又は物件から150メートル以上の距離を保つて飛行することのできる高度」としています。

低空飛行「爆撃訓練は、山間地をレーダーを避けて飛ぶため、60mとなるのだ！」

しかし、米軍の訓練規定では、「低空飛行とは60m以上」とされており、日米合意の150メートルと齟齬が生じています。実際、30m上空を飛んでいるときもあります。

そのため沖縄では、夜間訓練反対の「抗議闘争」時、暗視ゴーグルを付けた兵士に懐中電灯が「眩しく」写ったそうです。

安倍政権の「解釈改憲」は、戦争への道！

「戦争反対」の声をいまこそ厚肉中に轟かそう

集団的自衛権の行使「解禁」とは、米軍とともに（又は単独で）、世界中で「戦争をする」ことの言い換えに過ぎません。

武器輸出の「解禁」とともに、世界で「戦争」と「武器」を売り込む「死の商人」にしてはいけません。

※集団的自衛権とは、軍事同盟を結ぶ国（あるいは密接な関係にある国）が、第三国から攻撃を受けた場合（あるいはその国に戦争しかけるとき）、自国が攻撃されていないことも、同盟国とともに第三国を攻撃できる権利をいう。

◇ 安倍首相の企み ◇

- 4月 安倍首相の「私的諮問機関」である安保法制懇が「集団的自衛権の行使容認」を報告
- 4月～5月 安倍政権として「集団的自衛権の行使を合憲とする「解釈案」を決定
- 夏 安倍内閣が「解釈改憲」による行使容認を決定
- 秋 安倍首相が行使容認の関連法案（自衛隊法等）を国会に提出
- 12月 日米がガイドラインを再改定

「消費税増税とは」

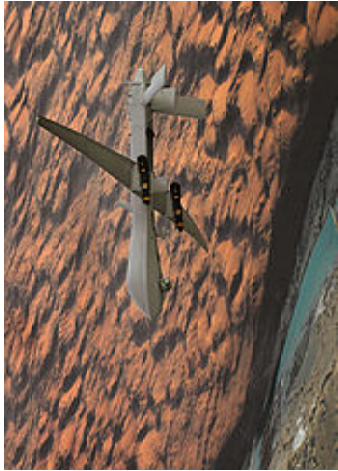
「公共事業と軍事費に大盤振る舞い」

2014年度国防予算

2.9%増加4兆8928億円

(購入予算額100億超を記載)

固定翼対潜哨戒機P-1×4機	773億円
次期シエット戦闘機F-35×4機	693億円
対潜ヘリコプター×4機	256億円
F-15シエット戦闘機改修×12機	150億円
F-2シエット戦闘機改修×12機	132億円
輸送機C-2×3機	603億円
潜水艦救難艦(5600ト)1隻	508億円
護衛艦(5000ト)1隻	733億円
潜水艦(2900ト)1隻	513億円
掃海艇1隻	174億円
地对艦ミサイル×16両	302億円
地对空ミサイル1個中隊171億円	
戦車×13両	131億円
早期警戒管制機(E-767)改修×4機	136億円
与那国島沿岸監視部隊を配置	155億円
中期防でオスプレイ	17機を購入、陸自に配備予定
機動戦闘車(従来戦車の代替)99両	
水陸両用車	52両
F-35シエット戦闘機	28機
※F-35の関連経費の総額は約13億円となり、2013年度予算約139億円を下回った。	
C-2輸送機	10機
無人機グローバルホーク	3機



無人で人を殺傷するロボット兵器

子どもたちを再び 放射能と戦争の惨禍に遭わせるな！

2013年度県平和センター 特別スローガン

組合員・OB・OGの皆さん！

PEACEネットの皆さん！

いまが、踏ん張りどころ！

日本全土を戦場にする、オスプレイの低空＝爆撃訓練反対！

解釈改憲＝集団的自衛権の行使解禁は9条抹殺、戦争への道だ！ 断固反対

鎮魂

反戦・環境・人権・芸術などに多大な貢献をされた元県議、藤井肇さんが2月4日、亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

寄贈いただいた「放射能測定器」は大切に使っていきます。早く、不要となる日が来るよう、遺志を引き継いでがんばります。

今後の予定

- ◇「オスプレイ訓練反対、解釈改憲反対」自治体申し入れ
- ◇全県で「オスプレイ訓練反対・集団的自衛権行使反対！」流し街宣
- ◇高江ヘリパット「標的の村」上映会 県内8ヶ所(詳細即参照)
- ◇3月20日(木) 小松基地爆撃訴訟 第20回口頭弁論 金沢地裁
- ◇4月12日(土) 沖縄の現状と私たちの闘い 玉城沖縄県議 内灘サイクリングターミナル
- ◇4月13日(日) 憲法学習会 七尾9条の会 北尾美帆弁護士
- ◇4月23日(水) 志賀原発を廃炉に 訴訟第9回口頭弁論 金沢地裁
- ◇5月3日(土) 憲法施行67周年集会「輝け九条！許すな改憲！」 集会 講師 斎藤書男氏 金沢本多の森ホール
- ◇5月13日(火) 志賀原発を廃炉に 訴訟原告団総会 地場産本館
- ◇5月15、18日 沖縄平和行進
- ◇6月12日、被爆69周年「非核平和行進」(予定)

編集後記

憲法改憲反対集会、昨年の6.25に続き成功。冷雨のなか参加した組合員、ピース会員、市民一千人の皆さんに感謝します。正念場はこれからです。ある死刑囚の話が「北陸中日」に連載されている。なぜ「殺人」に及んだのか。痛々しい過去が語られ、不遇な過去が…。その原因を除去しない限り「悲劇」は繰り返される。26兆9千億円、これは今後5年間(中期防衛計画)で費やされる軍事費。税収の1割を超える額が戦争のために…。怒りが湧きます。F4ファントムには爆撃装置がありません。「専守防衛」だから。ところが空中給油装置まで付けた爆撃機F35を配備しようとしている。「戦争する国」を阻止しよう！

安倍政権の「支持率」が50%台で推移。経済優先に国民が騙されている。「大政翼賛会」に成り果てた与野党ゆえか。原発を止めると毎年3.6兆円が海外に流出、という説に「過大試算」が判明。原子力ムラのいつもの「嘘」である。戦争への道は、戦争政策(法律の制定など)と同時に、国民が政府・企業を支持してしまうこと。日々の反戦・平和の取り組みが重要。川内原発の再稼働が迫っている。「フクシマ」の事故原因すら特定できない中、安倍首相を先頭にした無責任与野党が進めている。なんとしても阻止しなければ。県平和運動センターの役割は、重かつ大である。照